

①-1	頭部板屈折レバー	①-14	ブレーキ
①-2	サイドレール	①-15	予備スイッチ
①-3	頭部板固定ハンドル	①-16	非常用ブレーキ解除ハンドル
①-4	頭部板	①-17	電源コネクタ
①-5	背板	①-18	バッテリーインジケータ
①-6	腰板	①-19	等電位化端子
①-7	脚板	①-20	電源スイッチ
①-8	脚板屈折ハンドル	①-21	操作ボックス
①-9	脚板固定ハンドル	①-22	電源コード
①-10	腰板固定ハンドル	①-23	緊急停止スイッチ
①-11	アーム固定ハンドル	②	マットレス
①-12	操作ボックスコネクタ	③-1～5	マットレス
①-13	キャスター	③-6	フットスイッチ

注1：番号は1. 外観図の番号に対応

注2：テーブルトップとは①-4～7の総称

注3：ベースとは①-12を含む基台

2. 質量

本体：330 kg

3. 電氣的定格

定格電源電圧：AC100-240V

定格電源周波数：50/60Hz

消費電力：400VA

バッテリー電源電圧：DC24V

バッテリー充電時間：最長 24 時間（注）

注：使用条件により変わります。

4. 機器の分類（JIS T 0601-1:2023）

電撃に対する保護の形式による分類：クラス I 機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類：B形装着部

水の有害な浸入に対する保護の程度の分類：IPX4

本機はEMC規格 JIS T 0601-1-2:2023 に適合

5. 使用環境

周囲温度範囲：10℃～40℃

相対湿度範囲：30%～75%

気圧範囲：700hPa～1060hPa

6. 機能

電動

- | | | |
|----------|---------------|-----------|
| ① 昇降範囲 | 最高位 | : 1140 mm |
| | 最低位 | : 670 mm |
| ② 縦転角度 | 頭下がり | : 25° |
| | 頭上がり | : 25° |
| ③ 横転角度 | 右下がり | : 20° |
| | 左下がり | : 20° |
| ④ 背板屈折角度 | 上がり | : 60° |
| | 下がり | : 0° |
| ⑤ 腰板屈折角度 | 上がり | : 30° |
| | 下がり | : 90° |
| ⑥ 自動水平復帰 | 縦転／横転／ | |
| | 腰板屈折：上がり→水平位置 | |
| ⑦ ブレーキ | 固定／解除 | |
| ⑧ 操作機器 | 操作ボックス／予備スイッチ | |
| | 緊急停止スイッチ | |

手動

- | | | |
|------------|-------------------|---------|
| ① 頭部板屈折角度 | 上がり | : 60° |
| | 下がり | : 90° |
| ② 脚板屈折角度 | 上がり | : 30° |
| | 下がり | : 90° |
| ③ 脚板展開角度 | 左右 | : 各 90° |
| ④ 着脱可能箇所 | 頭部板／脚板（左右）／腰板（左右） | |
| ⑤ その他の手動機能 | 非常用ブレーキ解除ハンドル | |

7. 作動原理

本機は電動油圧手術台であり、電氣的に制御するポンプモーター・バルブ及びシリンダー・オイルタンク等の油圧機器で構成されています。

操作ボックスを操作するとポンプモーターが作動し、オイルタンクの作動油がバルブを介してシリンダーへ送られます。シリンダーへ送られた作動油の圧力によりシリンダーが伸縮し、シリンダーと連動している手術台の機械部分が作動することで、手術台の機能が作動します。

シリンダーの作動が限界に達すると、シリンダーの動きは停止して手術台の作動は停止します。

**【使用目的又は効果】

*

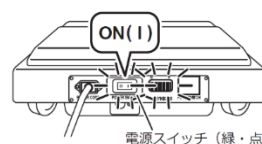
手術が必要な部位の大部分に適応するように改良された完全移動型手術台（汎用）をいいます。コンセント電源式・電池電源式の併用式のものです。

**【使用方法等】

*

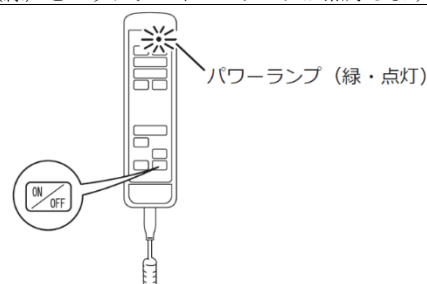
詳細な使用方法是取扱説明書をご参照ください。

1. 電源の入れ方（使用前：医用コンセントの電源で使用する場合）



電源スイッチ（緑・点灯）

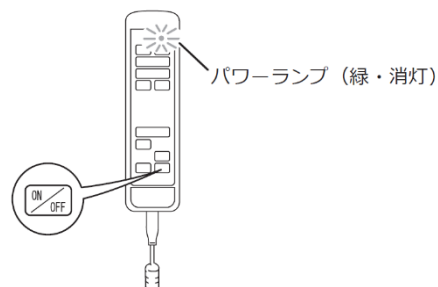
1-1 電源コードを電源コネクタと医用コンセントに差し込み、ベースの電源スイッチをON（|）にします。電源スイッチ（緑）とバッテリーインジケータが点灯します。



パワーランプ（緑・点灯）

1-2 操作ボックスの $\frac{ON}{OFF}$ を押します。操作ボックスのパワーランプ（緑）が点灯して電源が入ります。

2. 電源の切り方（使用后：医用コンセントの電源で使用する場合）



パワーランプ（緑・消灯）

2-1 電源が入っている状態で、操作ボックスの $\frac{ON}{OFF}$ を押します。操作ボックスのパワーランプ（緑）が消灯します。

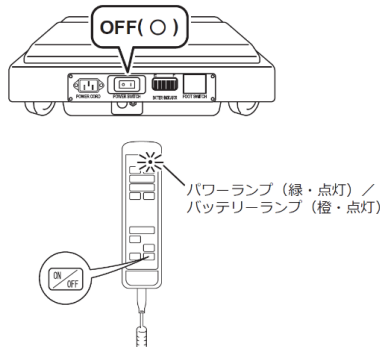


電源スイッチ（緑・消灯）

2-2 ベースの電源スイッチをOFF（○）にします。電源スイッチ（緑）とバッテリーインジケータが消灯して電源が切れます。

取扱説明書を必ずご参照ください。

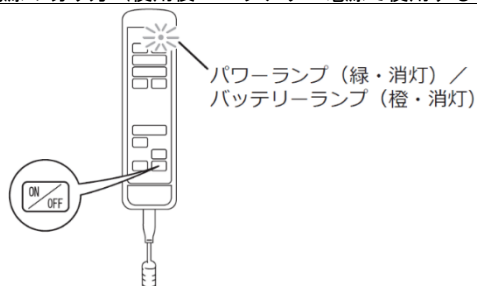
3. 電源の入力方（使用前：バッテリー電源で使用する場合）



電源コネクタに電源コードが接続されていない、又はベースの電源スイッチが OFF (O) の状態で、操作ボックスの **[ON]** を押します。パワーランプ（緑）、バッテリーランプ（橙）及びバッテリーインジケータが点灯して電源が入ります。

注：消費電力軽減のため ON/OFF 機能が作動し、電源が OFF になっている場合は、操作ボックスの **[ON]** を押して電源を入れてください。

4. 電源の切り方（使用后：バッテリー電源で使用する場合）

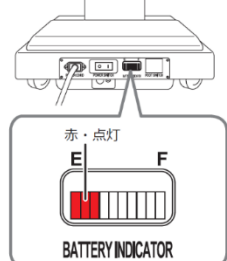


ベースの電源スイッチが OFF (O) の状態で、操作ボックスの **[OFF]** を押します。パワーランプ（緑）、バッテリーランプ（橙）及びバッテリーインジケータが点滅して電源が切れます。

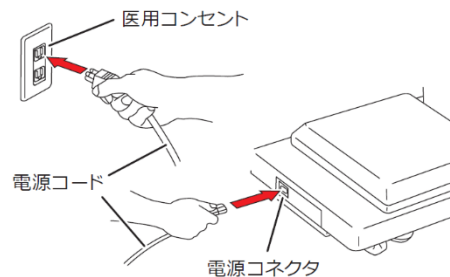
5. バッテリー充電のしかた



5-1 バッテリーランプを確認します。操作ボックスのバッテリーランプ（橙）が点滅したら充電が必要です。

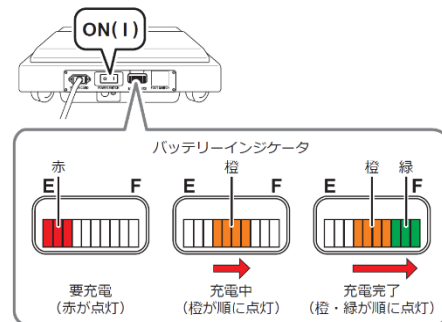


5-2 バッテリーインジケータの赤が点灯したら充電が必要です。



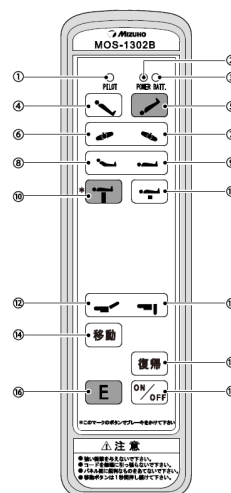
5-3 電源コードを電源コネクタと医用コンセントに差し込みます。

5-4 電源スイッチを入れると充電が始まります。充電中はバッテリーインジケータの橙が順に点灯します。



5-5 バッテリーインジケータの橙と緑が順に点灯すると充電は完了です。

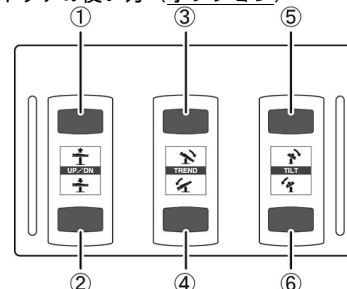
6. 操作ボックスの使い方（使用中）



- ① パイロットランプ
- ② パワーランプ
- ③ バッテリーランプ
- ④ 縦転：頭上がり
- ⑤ 縦転：頭下がり
- ⑥ 横転：左下がり
- ⑦ 横転：右下がり
- ⑧ 背板屈折：上がり
- ⑨ 背板屈折：下がり
- ⑩ 昇降：上昇（手術台固定）
- ⑪ 昇降：下降
- ⑫ 腰板屈折：上がり
- ⑬ 腰板屈折：下がり
- ⑭ ブレーキ解除
- ⑮ 水平復帰
- ⑯ E スイッチ
- ⑰ 電源 ON/OFF スイッチ（バッテリー電源操作）

[E] を押すと、パイロットランプが点灯します。ランプが点灯している間に機能スイッチを押すと、スイッチを押している間その機能が作動します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。

7. フットスイッチの使い方（オプション）



- ① 昇降：上昇
- ② 昇降：下降
- ③ 縦転：頭上がり
- ④ 縦転：頭下がり
- ⑤ 横転：右下がり
- ⑥ 横転：左下がり

機能スイッチを押す（踏む）ことで、各機能が作動します。スイッチを押している（踏んでいる）間は機能が作動し、離すと停止します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。

取扱説明書を必ずご参照ください。

**【使用上の注意】

*

詳細な注意事項は取扱説明書をご参照ください。

重要な基本的注意

1. 締結部の固定は必ず確認してください。ゆるんだ状態では機器が動いたり、外れたりして患者に傷害がおきのおそれがあります。
2. 他の機器やアクセサリを使用するときは、当該機器の注意事項等情報及び取扱説明書を読んで影響を確認してください。誤った使用法は患者・操作者及び手術台・併用する機器やアクセサリに悪影響を及ぼします。
3. 衛生のため、患者が触れる部分には必ず滅菌済ドレープを使用してください。
4. 併用する他の医用電気機器から電磁的影響による誤作動が発生することがあります。
5. 手術台の操作中や屈折操作中に背板と腰板の隙間に手を入れないでください。けがをするおそれがあります。
6. 非常用ブレーキ解除ハンドルが UNLOCK の状態で手術台を作動させないで下さい。転倒・けがのおそれがあります。
7. 非常用ブレーキ解除ハンドルを LOCK に戻したら、操作ボックスでブレーキ解除操作をしてください。ブレーキ解除操作をせずに手術台を作動させると、ブレーキが解除された状態で手術台が作動するため、転倒・けがのおそれがあります。
8. 使用条件によりバッテリーの寿命は大きく変わります。短時間使用で頻繁に充放電が繰り返されるとバッテリーの劣化が早まる可能性がありますので週 1 回充電（週末の充電）を行ってください。
充電満了まで最長で 24 時間程度かかります。
9. 操作ボックスのバッテリーランプが点滅している場合、又は手術台下部のバッテリーインジケータの赤が点灯している場合は、直ちに充電してください。
充電不足になると AC 電源でご使用は頂けますが、バッテリーでのご使用はできなくなります。

**【保管方法及び有効期間等】

*

1. 保管方法

- 周囲温度範囲 : -10℃～50℃
 相対湿度範囲 : 10%～85%（結露なし）
 気圧範囲 : 700hPa～1060hPa

2. 耐用期間

- 指定した保守点検及び適切な保管をした場合：10 年（注）
 [自己認証（弊社データ）による]
注：耐用期間内であっても、使用状況又は使用頻度により、突発的な故障、部品の著しい消耗・劣化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要です。
 但し、一般市販品の部品については、製造元の事情（製造期間終了・製造中止等）により、耐用期間内であっても部品供給による交換ができなくなる場合があります。

**【保守・点検に係る事項】

*

<使用者による保守点検事項>

使用者は手術台の使用前・使用後に必ず清掃・消毒を実施してください。詳細な点検事項は、取扱説明書をご参照ください。

1. 使用前の点検事項

- 1-1 マットレス
すべてのマットレスに破損がないか。
- 1-2 テーブルトップ
すべてのテーブルトップに破損がないか。
- 1-3 油漏れ
床又はベース表面に作動油が付着していないか。
- 1-4 電源コード及びプラグ
導線の露出又はプラグの破損がないか。
- 1-5 バッテリー
バッテリーが充電されているか。

1-6 緊急停止スイッチ

緊急停止スイッチが正常に作動するか。

1-7 操作ボックス及び予備スイッチ

- ・操作ボックスの電源 ON/OFF スイッチを押して、操作ボックスのパワーランプが点灯するか。
- ・操作ボックスの機能スイッチ及び予備スイッチを押して、すべての機能が正常に作動するか。

1-8 テーブルトップのガタ

背板両側を持って上下左右に揺すったときにガタがないか。

2. 使用後の点検事項

2-1 マットレス

すべてのマットレスに破損又は汚れがないか。

2-2 テーブルトップ

すべてのテーブルトップに破損又は汚れがないか。

2-3 油漏れ

床又はベース表面に作動油が付着していないか。

3. 清掃・消毒の手順

- 3-1 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。
- 3-2 使用する消毒液の表示又は説明書の内容を確認してください。
- 3-3 血液・薬剤・汚物等の汚れを水で拭き取り、消毒液を浸したガーゼ等で清拭してください。

4. 故障時のご願い

本機が故障したと思われるときは下記の処置を行い、ご購入店又は弊社に連絡してください。

- 4-1 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。
- 4-2 本機に「故障」・「使用禁止」・「修理必要」等の適切な表示をしてください。

<業者による保守点検事項>

本機を安全に使用するために、弊社及び弊社が認めた業者による年 1 回の定期点検を実施してください。それ以外の業者による保守点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。定期点検をご希望される場合は、ご購入店又は弊社にお問い合わせください。

<定期交換部品>

部品名	交換時期(注)
バッテリー	2 年
操作ボックス	4～6 年
キャスター	5～7 年
ブレーキゴム	3～5 年
電源コード	5～7 年

注：上記は目安の期間です。
 使用条件により交換時期が変わります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ミズホ株式会社

TEL 03(3815)3097

製造業者：ミズホ株式会社 千葉工場

保証期間に係る事項

本機は納品/設置してから 1 年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。

取扱説明書を必ずご参照ください。